

■「東紀州地域資源魅力発信事業」(尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町)

熊野古道世界遺産登録10周年に向け、キャンペーンのロゴマーク、キャッチコピーを作成し、ポスター、ダイジェスト版ガイドブック、予告版ホームページなどにより、10周年の機運を高めるためのPRを展開していきます。

○キャッチコピー

# 幸結さちびの路

山の幸、川の幸、海の幸、心の幸。

伊勢から熊野へ続く道は、

人々の祈りと幸せを結ぶ路。

平成26年7月、熊野古道が世界遺産登録されてから10周年を迎えることから、熊野古道伊勢路をはじめ東紀州の魅力を広く情報発信し、誘客促進につなげていくため、PR活動を展開していきます。

PR活動については、各峠のウォーキングコースの紹介に加え、伊勢から熊野を結ぶ路にスポットをあてることにより、熊野古道の持つ価値の本質を伝えます。また、花の窟神社などが有する神秘性や東紀州地域の魅力ある「食」などをPRすることで、女性層を中心に新たな来訪者の拡大につなげます。

“幸”とは、山、川、海などの自然からの恵み、地域の人々が手塩にかけて育てた特産物や味わっていたきたい料理はもとより、来訪者を温かく迎え入れるおもてなしの心もこの地域ならではの“幸「さち」”といえます。

また、古来、多くの人々が深い山々や険しい峠を越え、熊野の神々や仏の救い(“幸「しあわせ」”)を求めて伊勢詣でのあと熊野を目指しました。伊勢から熊野へ続く路は、人々の祈りと幸せを結ぶ路として、熊野古道伊勢路を歩いた日本人の神や自然に対する崇拜や祈りの心を体感し、癒しを得ることができます。

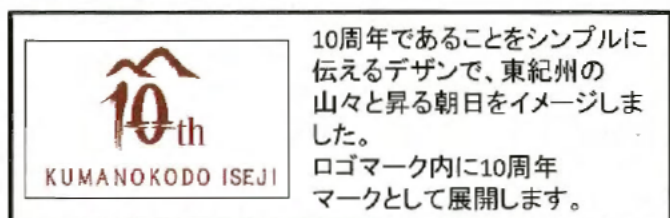
キャッチコピーでは、幸せを願う人々に訴えかけ、伊勢路を訪れることで、“幸”につながるような期待感を表現しています。

伊勢と熊野の二大聖地を結ぶ道「熊野古道伊勢路」を歩いた日本人の祈りの原点を感じながら旅してもらうとともに、人々の温かいおもてなしの心、山の幸、川の幸、海の幸など地域の幸を堪能できる東紀州地域の魅力を感じてもらうことを目指します。

○ロゴマーク

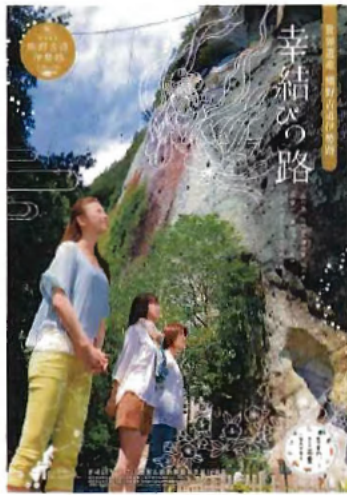


シンプルに10周年マーク・文字・絵を配置しました。熊野古道の石畳をイメージしたデザインで、ステッカー等に展開しやすい丸型のロゴデザインです。



10周年であることをシンプルに伝えるデザインで、東紀州の山々と昇る朝日をイメージしました。ロゴマーク内に10周年マークとして展開します。

○ポスター B1サイズ(全3種類)



花の窟神社



馬越峠



七里御浜

荘厳な古道のイメージに加えて、女性を中心とした新たな来訪者層に訴求するため世界遺産熊野古道伊勢路とともに世界遺産の花の窟神社・七里御浜を全面に出すことで、古道ウォークだけではない魅力を伝えます。

また、風景に加え人物の写真とイラストを用いることで、古より祈りの道として人々が歩んできた路であること、日本書紀で日本最古といわれる神社、今も変わらぬ美しい海岸線など、今も昔も変わらない神秘的な場所が数多くある地域だと感じさせるデザインとしました。

○ガイドブックダイジェスト版 A4サイズ(全12ページ)



表紙・裏表紙



P.1~P.2





P.3~P.4



P.5~P.6



P.7~P.8



P.9~P.10

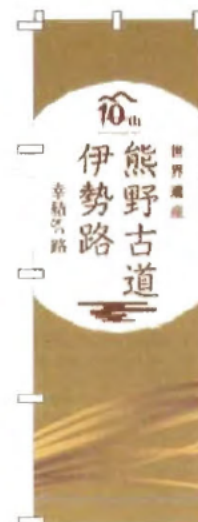
東紀州ならではの山の幸、川の幸、海の幸などを紹介するほか、熊野古道伊勢路各峠の紹介や、便利になった交通アクセス情報等を掲載し、東紀州地域の魅力をアピールします。単なるスポットの紹介だけではなく、旅に欠かせない「知る」「見る」「食べる」「遊ぶ」という内容を読み物として見せることで、全てを魅力的に感じる構成としました。

○ホームページ

<http://www.kumanokodo-iseji.jp>



○のぼり



今回作成した概要版のガイドブックに掲載した内容に沿って、熊野古道の各峠や各種「幸」を紹介するほか、イベント情報などを随時追加掲載し、東紀州地域の最新情報を発信していきます。